

2023年度原料規格三者委員会（書面審議）議事録
－2023年度 事前調査表－

1. 審議対象：JIS 原案作成に係る事前調査表
2. 審議内容：今後の制定・改正・廃止を予定している10規格（次頁参照）
についての事前調査表
3. 審議期間：2023年8月3日（木）～2023年8月17日（木）
4. 決議年月日：2023年8月21日（月）
5. 出席者（投票権有り）

（委員長） 尾島 委員長（東京理科大学名誉教授）
（副委員長） 田中副委員長（東京理科大学名誉教授）
（委員） 伊藤（英）（海外貨物検査）、稲角（東京大学総合研究博物館）、
堤（紳）（日本規格協会）、錦織（神戸製鋼所）、厚東（JFE スチール）、
山田（日本製鉄）、木原（伊藤忠商事）、服部（住友商事）、矢野（双日）、
木幡（丸紅）、園田（三井物産）、八田（三菱商事 RIM ジャパン）
（委員長・副委員長・委員計14名）

（関係者） 富永・伊藤（実）（経済産業省） （関係者計2名）

（幹事） 坂橋（日本鉄鋼連盟）

6. 審議結果：承認

<回答結果> 賛成 11名
反対 0名
棄権 3名（未投票）

なお、次の指摘があり、資料を修正する。

- ① JIS M 8214-2
1.2 和文名称を、以下のように変更する。

「モリブドけい酸青吸光光度 → モリブドけい酸青吸光光度法」

1.3 英文名称を、以下のように変更する。

「Part 2: Silicomolybdate blue spectrophotometric method → Part 2:
Molybdosilicate blue spectrophotometric method」

② JIS M 8216

1.3 英文名称を、以下のように変更する。

「Phosphomolybdate blue → Molybdophosphate blue」

以上

事前調査票リスト

<制定>

No.	規格番号	規格名称
1	M8214-1	鉄鉱石-けい素定量方法-第1部:二酸化けい素重量法
2	M8214-2	鉄鉱石-けい素定量方法-第2部:モリブドけい酸青吸光光度法
3	M8220-1	鉄鉱石-アルミニウム定量方法-第1部:鉄分離エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・亜鉛逆滴定法
4	M8220-2	鉄鉱石-アルミニウム定量方法-第2部:原子吸光分析法

※田中副委員長のご指摘により、M8214-2 の規格名称を変更しました。

<改正>

No.	規格番号	規格名称
1	M8213	鉄鉱石-酸可溶性鉄(Ⅱ)定量方法-二クロム酸カリウム滴定法 (現行名称:鉄鉱石-酸可溶性鉄(Ⅱ)定量方法)
2	M8216	鉄鉱石-りん定量方法-モリブドりん酸青吸光光度法
3	M8704	鉄鉱石-ロットの質量及び品質特性値の決定方法
4	M8715	鉄鉱石ペレット-膨れ試験方法

<廃止>

No.	規格番号	規格名称
1	M8214	鉄鉱石-けい素定量方法
2	M8220	鉄鉱石-アルミニウム定量方法

原料規格三者委員会 委員構成 (2023年8月現在)

No	区分	氏名	勤務先・所属	種別
1	委員長	尾島 善一	東京理科大学名誉教授	中立者
2	副委員長	田中 龍彦	東京理科大学名誉教授	中立者
3	委員	伊藤 英樹	海外貨物検査株式会社鉱産・化学品部	中立者
4	委員	稲角 忠弘	東京大学総合研究博物館	中立者
5	委員	堤 紳介	一般財団法人日本規格協会産業系規格開発ユニット	中立者
6	委員	錦織 歩	株式会社神戸製鋼所鉄鋼アルミ事業部門原料部	使用者
7	委員	厚東 直毅	JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区品質保証室	使用者
8	委員	堤 竜二	JFEスチール株式会社製鉄技術部	使用者
9	委員	山田 裕文	日本製鉄株式会社原料第二部	使用者
10	委員	木原 洋大	伊藤忠商事株式会社鉄鉱石・製鉄資源部	生産者
11	委員	服部 麻紀	住友商事株式会社鉄鋼原料部	生産者
12	委員	矢野 知秀	双日株式会社金属原料部	生産者
13	委員	木幡 宗士	丸紅株式会社鉄鉱石部	生産者
14	委員	園田 素康	三井物産株式会社鉄鉱石部	生産者
15	委員	八田 修明	三菱商事RtMジャパン株式会社鉄鋼原料本部鉄鉱石事業部	生産者
	関係者	富永 和也	経済産業省製造産業局金属課	—
	関係者	伊藤 実	経済産業省産業技術環境局国際標準課	—
	幹事	坂橋 信俊	一般社団法人日本鉄鋼連盟標準化センター	—